



44-1 弾痕が見られる田原坂付近の民家の土蔵(「九州戦地写真帖」より)



45-1 熊本口 熊本城天守台から見た兵営と大砲(「西南役写真帖」より)

- 44 各地勝景 九州戦地写真帖 上野彦馬
 明治十年(一八七七) 一冊 三の丸尚蔵館
- 45 西南役写真帖 上野彦馬・長谷川吉次郎
 明治十一年(一八七七) 全三冊のうち 三の丸尚蔵館

明治十年二月から九月まで九州全域で展開された西南戦争に関する写真帖。戦争の最中、すでに陸軍は写真師上野彦馬(一八三八〜一九〇四)に委嘱し、戦火の余燼未だ冷めやらぬ田原坂とその周辺地域の様子を撮影した。撮影写真は早くも六月二十六日付で長崎県令より熊本征討軍団に提出されている。今回の出陣資料の中でも特に古いこれらの写真をもとに製作された点で、「各地勝景 九州戦地写真帖」はきわめて貴重な資料といえよう。写真帖には激戦の舞台となった田原坂・吉次峠・木留などの眺望をはじめ、薩摩軍の頑強な抵抗の拠り所となった土塁の写真が収められた。とりわけ田原坂付近の民家の土蔵写真には弾痕が認められ、西南戦争最大の激戦の跡が臨場感をもって伝わってくる。

「西南役写真帖」は、長谷川吉次郎撮影の「八代口・植木口・熊本口」、上野彦馬撮影の「水俣口」および「鹿児島口」、以上全三冊から成る。いずれも撮影地点の戦闘日時や戦況などを詳説している点に特徴があるが、戦争に動員された警視隊の埋葬地の写真や警視隊員の戦闘の解説が収められていることから見て、内務省警視局作成の写真帖と推測される。「八代口・植木口・熊本口」には籠城戦に堪えた

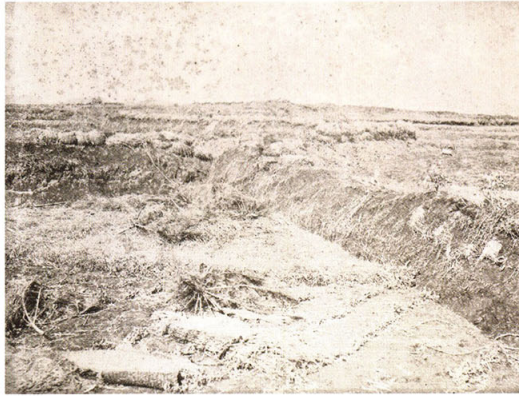
熊本城や、薩摩軍の幹部篠原国幹(一八三六〜七七)・永山弥一郎(一八三八〜七七)の戦死場所が、「鹿児島口」には薩摩軍の本営とされた城山のほか、鶴丸城、私学校跡地、西郷隆盛(一八二七〜七七)・桐野利秋(一八三八〜七七)の終焉の地となった岩崎谷と両名の首級受け渡しの地などが収録されている。



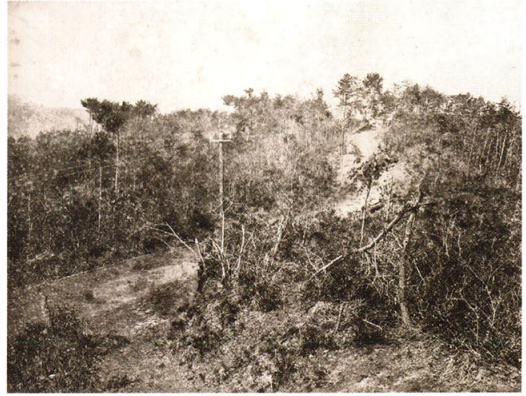
44-3 田原坂前面



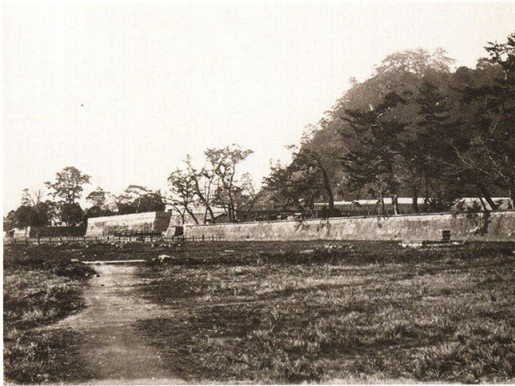
44-2 吉次本道



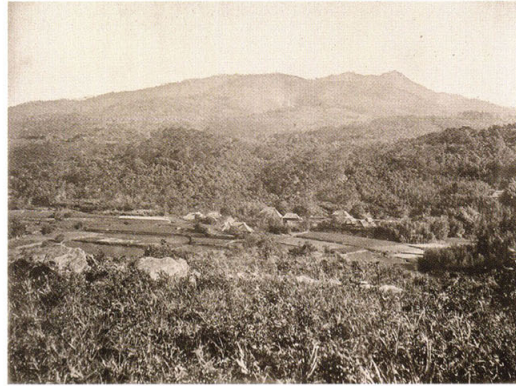
44-5 薩摩軍の土塁(台山原西向)



44-4 田原坂西面



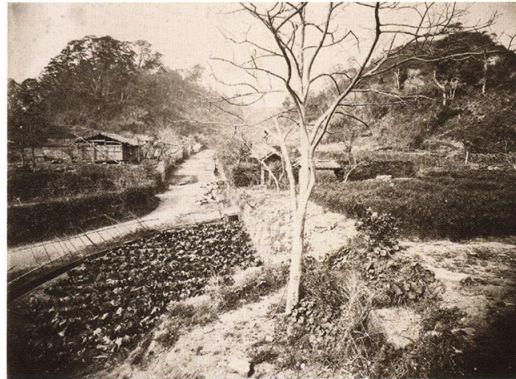
45-3 鶴丸城と私学校跡地(鹿児島口)



45-2 原倉村字七ツ松山より薩摩軍幹部篠原国幹戦死の地を望む(植木口)



45-5 警視隊埋葬地(鹿児島口)



45-4 西郷隆盛・桐野利秋の首級受け渡し之地(鹿児島口)

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治天皇 邦を知り国を治める——近代の国見と天皇のまなざし

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 67

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

黒川廣子

翻訳 宮内庁

発行 宮内庁

平成二十七年一月十日発行

© 2015, The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sanmonmaru Shōzōkan
Imperial Household Agency